



甲武橋下流河床掘削



伊子志堰上流河削



見返り岩対岸河床掘削



生瀬橋上流側河床掘削



新興橋上流河床掘削



西宝橋仮設橋工事

武庫川大橋下流側に大庄北低水護岸工事に仮置きされていた土砂を数台のコンボでリレー式に掘削運搬される様子はまるでバケツリレーのようで見ていて面白かった。近くの幼稚園児がデカイ砂遊び不思議そうに眺めていた。伊子志堰中央ゲート全転倒して河床掘削が行われていた。水位低下して伊子志取水口からの取水不可になりポンプアップして取水していたが、この時期本当に必要だったのかどうか分からない。当然魚道には一滴の水も流れない。見返り岩対岸・生瀬橋上流側・森興橋上流側で河床掘削が行われていた。生瀬橋は相当大規模な掘削になりそう。右岸の繁茂していた草が綺麗に刈りとられ護岸のカゴマット護岸が顕わになり自然の景観を損ねる。現地説明板がなく掘削後の河床がどのようになるのか想像つかないが、森興橋袂の事説明板を見ると元の水脈筋を復活するスライドダウン工法が採用されている模様。整備計画に謳われた通りの工法が採用されていることから西宝橋～伊子志間で行われている河床掘削全てスライドダウン方式を採用して工事が行われているものと思うが、元の姿がどうであったのか分からない。当然維持管理が必要で定期的な工事は必要で最もいいと思われる環境・景観を記録して復旧ポイントとする事が大事で継続的な景観保存が欠かせない。すっかり変わった武庫川にアユが喜んでくれることを期待したい。